。



2020年度定時役員会(総会)議案書

**日　時　　2020年４月２6日（日）**

**午前１０時 ～１２時**

**場　所　　ゆずり葉コミュニティルーム**

**～** **議　　事** **～**

**報告第１号　２０１９年度活動報告………………１～３頁**

**報告第２号　２０１９年度会計・監査報告………４～５頁**

**議案第１号　２０２０年度役員選任（案）………６～７頁**

**議案第２号　２０２０年度事業計画（案）………８～９頁**

**議案第３号　２０２０年度会計予算（案）…………１０頁**

≪参 考 資 料≫

　　　★ ２０２０年度議決点数表

「役員会」の年間日程表　　　　　　 **………**１１頁

「ゆずり葉だより」の配布年間日程表

★ 会　則**………………………………………**１２～１４頁

★ 会則改正の基本方針 **…………………………**１５頁

★ まちづくり協議会のあるべき姿について**………**１６頁

★ まちづくり協議会について**………………………**１７頁

★ 宝塚市まちづくり協議会の定義について

「ゆずり葉コミュニティ」組織図

★ 宝塚市のコミュニティ行政の基本的考え方**……**１９頁

★ まちづくり地域計画の提案(見直し) **……**２０～２１頁

**……**１８頁

逆瀬台小学校区まちづくり協議会

　 「ゆずり葉コミュニティ」

報告第１号　 ２０１９年度活動報告

**全体活動**

　(1) 定時役員会（総会）

２０１９年４月２０日（土）に開催。2５名出席。役員1４名(欠席３名)、非議決権者４名出席。

２０１８年度　活動報告・会計決算・監査報告の承認。

２０１９年度　役員選任・委員選出。事業計画・会計予算の審議と承認。

　(2) 会 議 開 催

① 定時役員会（総会）**：**１回／年。

② 役員会**：**５回／年、合計１３９名参加。

③ 五役会**：８**回／年、４０名参加。

④ 広報委員会**：**１０回/年、３０名参加。

⑤ 経理委員会**：　４**回/年、８名参加。

⑥ ゆずり葉まつりなど活動支援会議（コミュニティ連絡会議）**：３**回／年、９１名参加。

⑦ 福祉ネットワーク会議**：**２０１９年１０月６日(日)開催。出席２０団体で代表者４０名参加。

⑧ 宝塚市まちづくり協議会「代表者交流会」が年１１回開催され、会長が出席。

⑨ 前項の会議の内、「まちづくり計画」のテーマで２０１９年１０月９日（水）に開催された

　 「まちづくり協議会代表者交流会情報共有会議ワークショップ」に会長、事務局長が出席。

　(3)具体的活動

① 「地域ごとのまちづくり計画見直し」は、前年度に引き続いて、OM環境計画研究所のコンサルティングからの支援を受け、「まちづくり計画進捗状況チェックシート」「地域カルテ」との整合性を図り、全住民との意見集約を以って原案を決定。（参考資料２０～２１頁の「地域ごとのまちづくり計画」）

② 地域住民の「居場所づくり」の試みとして、聖隷逆瀬台デイサ－ビスセンターが２０１９年１０月１５日(火)に第1回「ナイトサロン」 を実施。まず逆瀬台地域の方々対象に約２５名が参加。 （第2回は、２０２０年３月１０日に青葉台地域の方々対象に実施予定だったが、コロナウィルスの影響で延期。）

③ 青葉台地域では、令和元年10月から外出介助活動を始めることが出来るようになり、10月1日（火）から「NPO法人生活支援の会あいかつ」外出介助事業開始の出発式が行われた。10月から半年間の利用件数は、75件。今後は、この事業がゆずり葉コミュニティの他の自治会にも広がるよう活動していく予定。

　　➃「ゆずり葉まつり」

２０１９年１０月１９日(土)に開催。子どもたちが企画・運営し、家庭・地域・学校が一体となって取り組んだ。「お神輿わっしょい」「神大ジャグリング部による演技」「ゲーム」「食品の販売」などで盛り上がり、楽しい時間を過ごした。

**事務局活動**

**広　報　委　員**

1. 広報紙「ゆずり葉だより」の発行

年４回、Ｂ４版４面、カラー印刷で発行した。またブログを活用し情報公開に努めた。２０１７年４月から宝塚市まち協のポータルサイトの運用が開始され、他のまち協の情報も共有できるようになった。

**－１－**

1. 広報紙の配付

年度当初に１年間の配付日時を設定し、１２自治会、２マンション管理組合に全戸配付した。また、外部には、行政関係、小・中・高の各学校、エデンの園、聖隷逆瀬台デイサービスセンター等に配布した。また広報紙は、宝塚市立中央図書館・資料室に創刊号から毎号持参し永久保存されている。

**書　記　委　員**

　　　　議事録は詳細に記録して会長に届け、次回役員会で全員に配付した。議事録は、ブログに掲載して永久保存されている。

**経　理　委　員**

　　　　支払の請求があれば、出納は書類を確認して迅速・正確に行なった。補助金の申請と報告書は、行政マニュアルに従って、説明責任が果たせるよう作成・提出した。

**施　設　委　員**

　　　　活動拠点「ゆずり葉コミュニティルーム」の利用状況は、延べ４67時間／年となり前年度比9％増であった。午前中の利用は、比較的ゆとりがあるので有効活用を図っていく。

**活動支援局活動**

**(1) 地域交流事業**

① ６マンション自治会と２マンション管理組合で構成する「白瀬川両岸集合住宅協議会」は、奇数月に代議員が集まりコミュニケーション会議を行なった。

② シネマシアター上映会は、数ヶ所の屋内会場や野外で映画会を行ない、映画を通して親睦を図った。

③ 自治会や老人クラブ、福祉活動委員会などが、桜祭り、夜桜の集い、盆踊り大会、夏祭り、納涼花火大会、文化祭、音楽会、展覧会、絵画展、お茶会、もちつき、収穫祭など活発な事業を行ない、住民の親睦、連帯意識の醸成と文化の高いまちづくりを進めた。

④ 地域における支え合い、見守り支援の仕組み作りを行なった。講師を招いて学習会、見守りのワークショップを開催した。

**(2) 子どもの健全育成・三世代交流事業**

① 子ども・親・高齢者の異世代ふれあいを通して連帯意識を培うべく、小学生入学・卒業の歓送迎会、クリスマス会、里山ハイキング＆バーベキュー、芋ほり、遊ぼう会など野外で三世

代のふれあい事業を実施した。

② 子どもたちを対象に大型紙芝居・人形劇や秋の文化祭・児童コーラス、夏休み学習会・基礎英語会話学習、ソロバンの指導などを行ない、健全育成を図った。

1. 子どもたちが、歴史、伝統、文化に対する関心や理解を深め、尊重する心を育み、豊かな 人生を涵養するため、平成１７年度から文化庁の支援を受け、毎月「伝統文化いけばな子ども教室」の活動を進展させている。半日はアヴェルデ集会室、半日は新設された宝塚市立中央公民館に活動拠点を移し、小学校では、逆瀬台、第一、西山、末広、五月台、市外の名塩から、それに中学生と高校生までが広域で参加している。

**－２－**

**(3) 防災・防犯推進事業**

当校区の高齢化率は、４５％であるのに対し、介護認定率は１７％台と低く、健康長寿を誇っている。安全で快適なまちづくりに住民の防災意識の高揚と自主的な防災、防犯運動を展開した。また、育成会児童の見守り同伴下校のボランティア活動への参加の呼びかけを実施し、併せて宝塚市国際交流協会と宝塚ベトナム友好協会を通じて、育成会児童とベトナム児童との絵画交流を行ない、国際的な文化活動の一端を担う役割を果たした。

また児童の登下校時に合わせての、散歩や植木の手入れなど、児童を見守る活動を行なった。

**(4) 環境美化推進事業**

　　①「まちをきれいに」を合言葉に公園や川のクリーンハイキングや清掃活動を行なって自然を

保護し、絶滅危惧種のミヤマアカネトンボや、ホタルの餌のカワニナを育て、その鑑賞用道路を整備した。

②「花と緑の会」で公園及び緑地を花でいっぱいにする活動は、各単位自治会や管理組合で活発に取り組んだ。宝塚市の公園河川課のアドプト制度の普及にも寄与した。

**(5) ゆずり葉散策路整備事業**

　　① 平成10年から始まった整備事業を継続した。裏山の豊かな自然を活かした身近な場所に四季折々の花と緑があり、高齢者・子どもたち家族揃ってできる健康づくりのための散策路の整備を行ない、裏山の自然を観察しながらの健康ハイキングができるコースを開拓して、そのルート整備を行なった。

1. 「ゆずり葉散策路西逆瀬台口」の出入口を駐車場持主が封鎖された。その対策を「地域ご とのまちづくり計画」に取り入れ、解決の道を探って行く。

　　③ 行者山東観峰登頂ハイキングを毎週日曜日の午前に実施した。

**(6) 健康・福祉ネットワーク事業**

① 2019年１０月6日(日)、福祉ネットワーク会議を社会福祉協議会との共催により、地域２０団体の代表者４0名の参加で開催した。地域福祉推進計画の実行を図った。

② 住み慣れた地域での健康と安心を目指し、健やかでやすらぎに満ちた暮らしと、生涯にわたる健康づくりを推進した。ハイキング、卓球、太極拳、健康リズム体操、ゲートボール、グラウンド・ゴルフ等と、健康教養講座・健康教室の出前講座などを活発に行なった。

③ 高齢者の見守りや閉じこもり予防の介護予防事業として、敬老の日のお祝い訪問、高齢者相互の絆づくりを目指す食事会、ふれあいサロンを域内で１４箇所設置して、健康カラオケサロン、歌唱クラブ、ウクレレの会、手芸サークル、マージャン同好会などを実施して、健康づくり・福祉ネットワーク事業を活性化した。

**(7) エイジフレンドリーシティに向けて地域活動活性化への取り組み**

　　　超高齢化が進み、急坂の多いベットタウンである当地は、「高齢者にやさしいまちはあらゆ　る世代にやさしいまちである」という理念のもと「お互いさまがあふれるまち」づくりを目指して地域の公園、花壇、裏山についてロードマップの利活用を図り実践活動を行なった。また高等学校やエデンの園との文化活動参加を行なった。

**－３－**

報告第２号　２０１9年度会計・監査報告

２０１9年度　会計収支決算書

単位**：**円

（２０１9年4月1日～２０20年3月３１日）

**支 出 の 部**

**収 入 の 部**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項　　　　　　目 | 予　算　額 | 実　績　額 | 摘 要 |
| 前年度繰越金 | 51,748 | 51,748 | ２０１8年度からの繰越金 |
| 市の補助金　(1) | 386,000 | 386,000 | 補助金交付要綱第５条1・2・3号 |
| 市の補助金　(2) | 170,000 | 170,000 | 4号・祭り・文化・技能祭の絆づくり事業 |
| 福祉コミュニティ支援事業 | 164,000 | 164,000 | 宝塚市社会福祉協議会の助成金 |
| ふれあいいきいきサロン支援事業 | 40,000 | 40,000 | 「ゆずり葉シニアサロン」社協助成金 |
| 社協の公募助成金 | 28,000 | 0 | 年末年始地域ささえ愛事業 |
| 参加者負担金 | 110,000 | 108,040 | 12自治会、2管理組合、エデンの園 |
| 広 告 収 入 | 250,000 | 258,120 | 「ゆずり葉だより」広告料 |
| 雑　収　入 | 0 | 1 | 利息 |
| 合　　　　計 | 1,199,748 | 1,177,909 |  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項　　　　　　目 | 予　算　額 | 実　績　額 | 摘 要 |
| 活　動　費 | 310,000 | 285,921 | 組織運営、地域課題事業 |
| 広報紙・ホームページ事業費 | 410,000 | 401,664 | 広報紙年4回発行 |
| 市の補助金(2)支出 | 170,000 | 170,000 | ４号・祭り・文化・技能祭の絆づくり事業 |
| 福祉コミュニティ支援事業 | 164,000 | 173,000 | 宝塚市社会福祉協議会の助成金事業費 |
| ふれあいいきいきサロン支援事業 | 40,000 | 40,000 | 同上・ゆずり葉シニアサロン継続助成金 |
| 社協の公募助成金 | 28,000 | 0 | 年末年始地域ささえ愛事業 |
| 会議室等使用料 | 2,000 | 1,200 | コミュニティルーム使用料 |
| 事務費・通信費 | 25,000 | 2,088 | プリント・コピー・文具代・切手代 |
| 予　備　費 | 50,748 | ― |  |
| 小　　　　計 | 1,199,748 | 1,073,873 |  |
| 次年度繰越金 | － | 104,036 | ２０20年度への繰越金 |
| 合　　　　計 | 1,199,748 | 1,177,909 |  |

２０１９年度の収支決算について、以上のとおり報告します。

２０２０年３月３１日　　　経理委員　内　田　佑　子

上記会計報告について、監査の結果適正であったことを認めます。

２０２０年４月　１日　　　監査役員　遠　藤　捷　爾

－４－

**特　別　会　計**

**拠点施設運営協力積立金特別会計**

（２０１９年4月1日～２０２０年3月３１日）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 拠点施設運営協力積立金 | 201８年度残高 | 収　　　入 | 支　　　出 | 201９年度残高 |
| 201９年度 | 641,137 | 46,706 | 74,184 | 613,659 |

２０１９年度の収支決算について、以上のとおり報告します。

※　収入の内訳：①コミュニティルーム使用料収入46,700円　②利息6円

支出の内訳：①複合機・コピー機インク代44,032円②電話代21,766円

③社協マスター代7,000円➃雑費1,386円

２０２０年３月３１日　　　経理委員　内　田　佑　子

上記会計報告について、監査の結果適正であったことを認めます。

２０２０年４月　１日　　　監査役員　遠　藤　捷　爾

参考**：**

◆ 宝塚市まちづくり計画に位置付けられた

地域事業補助金

(1) 逆瀬台文化祭　　　　 140,000円

(2) 逆瀬台桜まつり　　　　　　30,000

（合　計）　　　170,000

◆ 福祉コミュニティ支援事業支出明細

(1) 光ガ丘クラブ福祉活動費 　 120,000円

(2) サロンド逆瀬台他 30,000

(3) 午後のふれあいサロンひまわり　10,000

(4) ふれあいｻﾛﾝ･ｱｳﾞｪﾙﾃﾞ　　　　　 10,000

(5) その他なごみサロン　　　 3,000

（なごみサロンには他に市補助金7,000が出ています）

（合　計）　　　173,000

**－５－**

議案第１号　２０２０年度役員の選任

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏　 名 | 住 　　　　　　　　　 所 | 電 話 | 所　　　　　　　　　　属 |
| 大澤喜弘 | 逆瀬台３－６－７ | 71-8978 | 逆瀬台自治会 |
| 浅田憲哉 | 〃　５－１－３ | 09038461918 | 〃 |
| 古泉義太郎 | 光ガ丘２－４－７ | 73-4577 | 光ガ丘自治会 |
| 小畠一郎 | 〃　１－１９－９  （個人情報につき非表示） | 74-0388 | 〃 |
| 外山算彦 | 逆瀬台１－１１－２－４０５ | 74-4711 | 阪急逆瀬台アヴェルデ自治会 |
| 橘　郁子 | 〃 １－１１－３－５０６ |  | 〃 |
| 浜崎史孝 | 〃　１－８－Ｄ－４０１ | 72-0357 | 逆瀬川グリーンハイツ自治会 |
| 柳瀬邦雄 | 〃　１－８－Ｂ－２０３  (個人情報につき非表示) | 72-6834 | 〃 |
| 光村正生 | 青葉台１－１９－５ | 20-0689 | 阪急青葉台自治会 |
| 大森正広 | 〃　１－１５－８ | 72-8571 | 〃 |
| 山本　勝 | 逆瀬台１－３－Ｂ－５０２ | 76-5424 | 逆瀬川マンション自治会 |
| 梅原道子 | 青葉台１－１－４－３２４ | 75-5663 | 宝梅園団地自治会 |
| 杦井 治夫 | 逆瀬台１－１０－１－５０４ | 09050994694 | 宝塚西山住宅自治会 |
| 吉 岡 有 里 | ゆずり葉台２－8－１0 | 51-0010 | ゆずり葉台自治会 |
| 石谷清明 | 逆瀬台１－７－１－５０５ | 20-5054 | 阪急逆瀬台Ｍ自治会 |
| 中村一雄 | 〃 ２－７－１７ | 72-5644 | 逆瀬台2丁目自治会 |
| 沖田信幸 | 〃 ２－７－３０－９０３ | 09074898450 | 逆瀬川パーク・マンション自治会 |
| 梶 浦 恭 弘 | 〃 １－５－１－３１１ | 74-3991 | 逆瀬台住宅管理組合 |
| 宇 野 晃 吉 | 〃 ３－１１－１－２０４ | 77-3494 | シャンティー逆瀬川管理組合 |

**◆２０２０年度役員名簿（案）◆**

　（※　4/7現在のお名前を載せております。各自治会及び管理組合の総会時期により、

今後変更の場合があります。ご了承くださいませ。）

**◆２０２０年度５役名簿（案）◆**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 役　 職 | 氏 　　 名 | 住　　　　　 　　　　所 | 電　　話 | 所　　　　 属 |
| 相　談　役 | 井箟曄雄 | 逆瀬台６－９－１８ | 73-8013 | 逆瀬台自治会 |
| 会　　長 | 石谷清明 | 〃 １－７－１－５０５  （個人情報につき非表示） | 20-5054 | 阪急逆瀬台Ｍ自治会 |
| 事務局長 | 光村正生 | 青葉台１－１９－５ | 20-0689 | 阪急青葉台自治会 |
| 活動支援局長 | 古泉義太郎 | 光ガ丘２－４－７ | 73-4577 | 光ガ丘自治会 |
| 特 命 部 長 | 浜崎 史孝 | 逆瀬台２－７－１７ | 72-5644 | 逆瀬川グリーンハイツ自治会 |

**－６－**

**◆ 平成２５年度３役名簿（案）◆**

**平成２０年度３役名簿（案）**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 役　 職 | 氏 　　 名 | 住　　　　　　　　　所 | 電　　話 | 所　　　　 属 |
| 広報委員 | 篠原和豊 | 逆瀬台１－１１－４－５０７ | 72-1658 | ― |
| 書記委員 | 浅田憲哉 | 〃　５―１－３  （個人情報につき非表示） | 09038461918 | ― |
| 経理委員 | 内田佑子 | 〃　１－７―１―５０６ | 72-1501 | ― |
| 施設委員 | 中村一雄 | 〃　２－７－１７ | 72-5644 | ― |

**◆２０２０年度監査役名簿（案）◆**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 役　 職 | 氏 　　 名 | 住　　　　　 　　　　所 | 電　　話 | 所　　　　 属 |
| 監査役員 | 遠藤捷爾 | 逆瀬台１－８－Ａ－８０２ | 77-1205  （個人情報につき非表示） | 逆瀬川グリーンハイツ自治会 |

**◆２０２０年度事務局委員名簿（案）◆**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 役　 職 | 氏 　　 名 | 住　　　　　　　　　所 | 電　　話 | 所　　　　 属 |
| 活動委員 | 西澤芳正 | 光ガ丘２－７－２３ | 74-7070 | ― |
| 〃 | 小橋光子 | 〃 １－７－５ | 71-3981 | ― |
| 〃 | 大迫規子 | 逆瀬台１－１１－３－３０１ | 73-4365 | ― |
| 〃 | 清水妙子 | 〃 １－１１－３－７０８  （個人情報につき非表示） | 73-8272 | ― |
| 〃 | 久原正基 | 青葉台１－１－１－４０８ | 73-2187 | ― |
| 〃 | 沖 田 信 幸 | 逆瀬台２－７－３０－２０２ | 73-1686 | ― |
| 〃 | 千秋良雄 | 〃 １－３－C－３１２ | 71-4468 | ― |
| 〃 | 大澤喜弘 | 〃 ３－６－７ | 71-8978 | ― |
| 〃 | 石谷清明 | 〃 １－７－１－５０５ | 20-5054 | ― |
| 〃 | 内田佑子 | 〃 １－７－１－５０６ | 72-1501 | ― |

**◆２０２０年度活動支援局委員名簿（案）◆**

**－７－**

議案第２号　２０２０年度事業計画（案）

**全体活動事業**

　設立から２５年目を迎えた当会は、他団体との連携と協働の強化、とりわけ域内においての「スポーツクラブ２１ゆずり葉」、「逆瀬台小学校ＰＴＡ」、「民生委員・児童委員」などと多様化した協働の場を拡げる。１２自治会・２管理組合を中核とした議決機関である役員会と執行機関である事務局、活動支援局による２局体制を効果的に機能させ、地域コミュニティの創造的形成を推進していく。

　(1) ２０２０年４月２６(日)に総会にかわる「２０２０年度定時役員会」を開催する。

役員会は、奇数月に５役による役員会資料の作成と配付、偶数月の第１日曜日午前１０時から役員会の開催を基本とする。（参考資料１１頁の「役員会」の年間日程表を参照）。

　(2)「宝塚市まちづくり協議会代表者交流会」は、石谷会長が出席する。

　(3) ゆずり葉まつりは、秋祭りとして「逆瀬台小学校ゆずりは会」を支援し、協働して行なう。

　(4) ２マンション管理組合への自治会結成・宝塚市自治会連合会への加入促進を行なう。

　　全国的に地域主権が進む中、自治会結成・宝塚市自治会連合会への加入促進について、宝塚市

と宝塚市自治会連合会による説明会が開催されれば参加する。

　(5)「地域ごとのまちづくり計画」原案は、単なる計画に終わらせないために担当を決め、継続的なフォロー体制を強化し、課題解決に努める。（参考資料２０～２１頁の「地域ごとのまちづくり計画」を参照）。

**事務局活動事業**

**(1) 広報委員**

　　　　地域自治を担うためには、情報伝達・共有活動が非常に大切である。情報の受・発信に努力し、住民にオープンな情報の伝達を図る。

1. 広報紙「ゆずり葉だより」の発行**：**年４回、Ｂ４版４面、カラー印刷で行う。

　　　　　参考資料１１頁の配付年間日程表により各団体に広報紙を配付する。

② ポータルサイトの更新：https://takarazuka-community.jp/list/yuzuriha10/

　 ホームページの更新**：**http://yzrh.exblogjp/

　 ＨＰ掲示板の更新**：**http://8507.teacup.com/yuzuriha/bbs

　 ブログの更新**：**http://www.hnpo.comsapo.net/yuzuriha/

③ Ｅメール**：**yuzurihacom@a.zaq.jp

**(2) 書記委員**

　　　役員会の議事録を速やかに作成する。併せてブログは、紙ベースと違い情報量の制限もなく、

多量でスピーディに配信できる。アップデートして情報のオープン化と、資料保存の確保を図る。

**－８－**

**(3) 経理業務**

出納・収支管理の他、予算管理や補助金等の資金調達活動も行なう。

**(4) 施設業務**

　　　コミュニティルーム等の運営業務を行ない、使用日の受付、使用料の徴収、鍵の管理等行なう。

**活動支援局活動事業**

**(1) 地域交流事業**

　　　① 自治会や老人会、福祉委員など活発な事業を行い、文化の高いまちづくりを形成する。

　　　②「白瀬川両岸集合住宅協議会」はゆずり葉コミュニティ役員会終了後に代議員が集まり、コミュニケーション会議を行う。

**(2) 子どもの健全育成・三世代交流事業**

　　　子ども・親・高齢者の異世代ふれあいを通して連帯意識を醸成する。野外で三世代のふれあい事業を実施し、子どもたちの健全育成を図る。

**(3) 防災・防犯推進事業**

　　　災害の未然防止に、防災訓練の参加や防災意識の高揚を図る。

　　　児童の登校時、下校時に時間を合わせての散歩や植木の手入れなど、児童の見守りを行う。

**(4) 環境美化推進事業**

　　 「まちをきれいに」を合言葉に、里山や公園・白瀬川他のクリーンハイキング、清掃活動を行う。

**(5) 健康福祉ネットワーク事業**

　　　高齢者福祉、子育て支援、特に一人暮らしの高齢者の日常的な見守り活動や、災害時の救助活動「災害時要援護者支援制度」の取り組みと福祉ネットワーク事業を展開し、各地域のサロンや自治会イベント活動等を積極的に支援し、誰もが参加できる「居場所づくり」を促進する。

**(6) エイジフレンドリーシティに向けて地域活動活性化への取り組み**

　　　超高齢化が進み、急坂の多いベットタウンである当地は、高齢者にやさしいまちづくりを目指して、地域の公園、花壇、裏山についてロードマップの利活用を図り、あらゆる世代が「お互いさまがあふれるまちづくり」への実践活動を行う。

**－９－**

議案第３号　２０２０年度会計予算(案)

（２０２０年4月1日～２０２１年3月３１日）

**収 入 の 部**

２０２０年度　会計収支予算書

単位**：**円

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項　　　　　　目 | 金　　　額 | 摘 要 |
| 前年度繰越金 | 104,036 | ２０１９年度からの繰越 |
| 市の補助金(1) | 386,000 | 補助金交付要綱第５条1・2・3号 |
| 市の補助金(2) | 170,000 | 補助金交付要綱第５条４号 |
| 社協の助成金(1) | 152,000 | 福祉コミュニティ支援事業ステップアップ活動 |
| 社協の助成金(2) | 40,000 | ふれあいいきいきサロン「ゆずり葉シニアサロン」 |
| 社協の助成金(3) | 30,000 | 年末年始地域ささえ愛事業 |
| 協　賛　金 | 110,000 | ＠３０円／戸 |
| 広 告 収 入 | 250,000 | 「ゆずり葉だより」広告料 |
| 雑　収　入 | 1 | ゆうちょ銀行普通預金利息 |
| 合　　　　計 | 1,242,037 |  |

**支 出 の 部**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項　　　　　　目 | 金　　　額 | 摘 要 |
| 活　動　費 | 310,000 | 組織運営、地域課題事業 |
| 広報紙・ホームページ事業費 | 410,000 | 広報紙年4回発行 |
| 市の補助金(2) | 170,000 | 補助金交付要綱第５条４号 |
| 社協の助成金(1) | 152,000 | 福祉コミュニティ支援事業ステップアップ活動 |
| 社協の助成金(2) | 40,000 | ふれあいいきいきサロン「ゆずり葉シニアサロン」 |
| 社協の助成金(3) | 30,000 | 年末年始地域ささえ愛事業 |
| 会議室等使用料 | 2,000 | コミュニティルーム使用料他 |
| プリント・コピー・文具代 | 30,000 | 事務用品、コピー、通信費 |
| 予　備　費 | 98,037 |  |
| 合　　　　計 | 1,242,037 |  |

**特　別　会　計**

２０２０年4月1日～２０２１年3月３１日

拠点施設運営協力積立金特別会計

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 拠点施設運営協力金 | 201９年度残 | 収　　入 | 支　　出 | 20２０年度残 |
| ２０２０年度 | 613,659 | 40,000 | 80,000 | 573,659 |

－１０－

◆ 別表Ⅱ（第６条関係）**２０２０年度議決点数表**

　　自治会及びマンション管理組合　 　　　総戸数 ／ 議決点数

逆瀬台自治会　　　　　　　　　　　 　　　７５６ ／ ７５０

光ガ丘自治会　　　　　　　　　　　 　　　４３７ ／ ４３０

阪急逆瀬台アヴェルデ自治会　　　　　　　 ４５３ ／ ４５０

逆瀬川グリーンハイツ自治会　　　　　　　 ３２３ ／ ３２０

阪急青葉台自治会　　　　　　　　　　　　 ３０４ ／ ３００

逆瀬川マンション自治会　　　　　　　 　　１６６ ／ １６０

宝梅園団地自治会　　　　　　　　　 　　　１６０ ／ １６０

宝塚西山住宅自治会　　　　　　　 　　　　１００ ／ １００

ゆずり葉台自治会　　　　　　　　　 　　　　９４／　　９０

阪急逆瀬台マンション自治会　　　 　　　　　８３ ／ 　８０

逆瀬台２丁目自治会　　　 　　　　　　　　　８1 ／ 　８０

逆瀬川パークマンション自治会　　 　　　　１５１ ／ １５０

逆瀬台住宅管理組合　　　　　　　　 　　　１２０ ／ １２０

シャンティー逆瀬川管理組合　　　 　　　　　４８ ／ 　４０

　　　　　　　　 合　　　　　計 　　　 　　　３,２７７ ／ ３,２３０

◆ **「役員会」の年間日程表**

**場　所 ： ゆずり葉コミュニティルーム**

　　　　　定時役員会　　　２０２０年４月２６日（日）　１０**：**００～１２**：**００　（総会に替わる）

　　　　　６月度役員会　　　　〃　　６月　７日（日）　１０**：**００～１２**：**００

　　　　　８月度役員会　　　　〃　　８月　２日（日）　１０**：**００～１２**：**００

　　　　　１０月度役員会　　　〃　１０月　４日（日）　１０**：**００～１２**：**００

　　　　　１２月度役員会　　　〃　１２月　６日（日）　１０**：**００～１２**：**００

　　　　　２月度役員会　　２０２１年２月　７日（日）　１０**：**００～１２**：**００

　　　　　定時役員会　　　　　〃　　４月2５日（日）　１０**：**００～１２**：**００　（総会に替わる）

◆ **「ゆずり葉だより」の配布年間日程表**

**下記日時で「ゆずり葉コミュニティルーム」において、各自治会**

**の担当者が引き取りをお願いします。**

　　　　　２０２０年６月２１日（日）　１４**：**００～１５**：**００

　　　　　　　〃　　９月２０日（日）　１４**：**００～１５**：**００

　　　　　　　〃　１２月２０日（日）　１４**：**００～１５**：**００

　　　　　２０２１年３月２１日（日）　１４**：**００～１５**：**００

　　（なお、マンション群については、グリーンハイツ管理棟にて配付いたします。）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　－１１－

**逆瀬台小学校区まちづくり協議会会則**

（名　称）

1. 本会は、「逆瀬台小学校区まちづくり協議会」と称し、通称を「ゆずり葉コミュニティ」と云う。

（会　員）

第２条　本会の会員は、逆瀬台小学校区に居住する住民とする。

（事務所）

第３条　本会の事務所は、逆瀬台小学校北館「ゆずり葉コミュニティルーム準備室」内に置く。

（目的と活動）

第４条　地域住民参加による地域文化の創造・生涯学習・健康福祉の増進・自然保護・生活環境の向上等を目的とする地域活動を支援し、住民相互の交流を図ると共に「健康で心豊かな生活、住みよいまちづくり」を目指して活動する。

（役　員）

第５条

１　役員は、別表Ⅰのとおり選任する。

２　役員の任期は４月１日から翌年３月３１日までの１年とする。 ただし、再任を妨げない。

３　役員に欠員が生じたときは、速やかに役員を選任し、就任した役員の任期は前任者の残任期間とする。

（役員会）

第６条

１　役員会は役員で構成し、必要のつど開催して、次の事項を審議し決定する。

　　①　会則の制定及び改廃に関すること。

　　②　会長、事務局長、活動支援局長及び監査役員並びに委員の選任に関すること。

　　③　事業報告及び決算報告に関すること。

④　事業計画及び予算に関すること。

⑤　逆瀬台小学校区における「まちづくり」に関すること。

⑥　その他本会の運営に関すること。

２　役員会は、会長が招集し、構成員の半数以上の出席（委任状を含む）をもって成立する。

３　役員会の議事は、全員の合意による決定を原則とし、全員の合意に至らない

ときは、別表Ⅱの議決点数により賛否を決する。

４　年度当初（４月）の役員会は定時役員会とし、１項②号、③号及び④号は必定議案とし審議決定する。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　－１２－

５　定時役員会の議案は、事務局長が会長、活動支援局長と協議して作成し提出する。

ただし、事業報告書、決算報告書は、前年度の会長、事務局長、活動支援局長が作成し提出する。

６　役員会の議長は、会長がこれを行う。

（会　長）

第７条　会長は本会を代表し会務を総括すると共に、対外業務を行う。

（事務局）

第８条

　　　構　　成　　員数　　　 担　　当　　業　　務

　　事務局長　　　１名　事務局を総括し会長を補佐する。

　　広報委員　　　２名　広報紙の発行及びＩＴの活用による情報・宣伝業務を行

　　　　　　　　　　　　う。

　　書記委員　　　２名　書記業務及び庶務業務を行う。

　　経理委員　　　１名　経理業務を行う。

　　専任経理委員　　―　必要に応じ、特定事業の経理業務を行う。

　　施設委員　　　１名　逆瀬台小学校及び逆瀬台ディサービスセンター内の本会

　 の関係施設及び備品の管理業務を行う。

（活動支援局）

第９条

　　 構　　　成　 員数　　　 担　　当　　業　　務

　　活動支援局長　１名　活動支援局を総括し、会長を補佐する。域内個人・活動

団体の登録申請の受付、審査及び許可業務並びに登録団

体・個人との連携、調整、支援に係る業務を行う。

　　活動支援局委員 １０名以下 活動支援局長の補佐業務を行う。

（会計監査）

第10条

　　 構　　　成　 員数　　　 担　　当　　業　　務

　　監査役員　　　１名　経理処理の監査業務を行う。

　　監査委員　　　１名　監査役員の補佐業務を行う。

（活動資金）

第11条　本会の活動資金は、助成金・協賛金・事業活動による収益金等を充てる。

（会計年度）

第12条　本会の会計年度は、毎年４月１日に始まり翌年の３月３１日に終わる。

付　　則

　　１　この会則は、平成２０年４月１日から施行する。

２ 「ゆずり葉コミュニティ会則」は、平成２０年３月末日をもって廃止する。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　－１３－

別表Ⅰ（第５条関係）

　　自治会及びマンション管理組合　　　 役 員 数(名)

逆瀬台自治会　　　　　　　　　　　　　　　 ２

光ガ丘自治会　　　　　　　　　　　　　　　 ２

阪急逆瀬台アヴェルデ自治会　　　　　　　　 ２

逆瀬川グリーンハイツ自治会　　　　　　　　 ２

阪急青葉台自治会 　　　　　　　　 ２

逆瀬川マンション自治会　　　　　　　　　　　1

宝梅園団地自治会　　　　　　　　　　　　　 １

宝塚西山住宅自治会　　　　　　　　　　　　 １

ゆずり葉台自治会　　　　　　　　　　　　　 １

阪急逆瀬台マンション自治会　　　　　　　　 １

逆瀬台２丁目自治会　　　　　　　　　　　　 １

逆瀬川パークマンション自治会　　　　　　　 １

逆瀬台住宅管理組合　　　　　　　　　　　　 １

シャンティー逆瀬川管理組合　　　　　　　　 １

　　　　　　合　　　　　計　　　　　　　　１９

備考　役員数は、３０１戸数以上２名、３００戸数以下１名、

の基準により算定する。

別表Ⅱ（第６条関係）

　　自治会及びマンション管理組合　　　　総戸数 ／ 議決点数

　　　逆瀬台自治会　　　　　　　　　　　　　　　　　 ／

　　　光ガ丘自治会　　　　　　　　　　　　　　　　　 ／

阪急逆瀬台アヴェルデ自治会　　　　　　　　　　 ／

　　　逆瀬川グリーンハイツ自治会 　　　　　 　　　 ／

　　　阪急青葉台自治会 　　　　　　　　　　 ／

逆瀬川マンション自治会　　　　　　　　　　　　　／

宝梅園団地自治会　　　　　　　　　　　　　　　　／

宝塚西山住宅自治会　　　　　　　　　　　　　　　／

ゆずり葉台自治会 　　　　　　　　　　 ／

　　　阪急逆瀬台マンション自治会　　　　　　　　　　 ／

　　　逆瀬台２丁目自治会　　　　 　　　　　　　　　 ／

　　　逆瀬川パークマンション自治会　　　　　　　　　 ／

　　　逆瀬台住宅管理組合　　　　　　　　　　　　　　 ／

　　　シャンティー逆瀬川管理組合　　　　　　　　　　 ／

　　　　　　　　 合　　　　　計 　　　　　　　　　　 ／

備考　１　議決点数は、該当地区の総戸数とし、毎年４月に至近の

調査戸数を申告する。

２　１０戸未満は切り下げとする。

－１4－

平成２０年２月２日

**逆瀬台小学校区まちづくり協議会会則改正の基本方針**

(1) 地方分権が進み「宝塚市の地域自治制度」を担える組織づくりに向けて議決機関は、単位自治会（単位マンション管理組合を含む）から選出した役員をもって構成する。

　①小学校区の広域になると議決の仕組みが大切で「代議員制度」の確立が重要となる。

「逆瀬台小学校区自治会協議会」の充実が重要。

　②単位マンション管理組合は、財産管理が主目的であって自治会制度の組織化が必要で

　　ある。このため宝塚市全体として「マンション自治会結成の促進」を図る。

**※**　具体的に平成１９年１２月２日(日)宝塚市役所において管理組合の理事長に対し説明会を開催した。

(2) 議決機関は「役員会」と称する。

　①会則による「まちづくり協議会」を機能させるには、絵に描いた餅ではなく如何に組

織を化するかである。

②最高議決機関、常任評議会とか評議委員の用語はさけ住民誰でもが分かる一般用語の

「役員会」にして総会を含む議決機関としての会議体を一本化した。

③会議体の議論は、過程（プロセス）が大切であり二重構造の組織は不要である。

　④組織の牽制制度は大切であるが、議決機関において実践活動の汗をかかない人達が議

決だけの権利主張をされても、執行機関には十分な理解が得られない。

⑤会長、事務局長、活動支援局長は、役員会のメンバーから選任する。

　これは組織の一貫性及び議決と執行のスムーズな協働を図るためである。

(3)組織の柱

　①組織の柱が議決機関「役員会」及び執行機関の「事務局」と「活動支援局」になった

ことはシンプルで分かりやすく画期的発想である。

　②宝塚市は、「まちづくり基本条例」「市民参加条例」があるが、「宝塚市まちづくり協議

会」に関する条例はない。現状として民生委員、防犯推進委員、青少年育成市民会議、

健康づくり推進委員など多数の分野別による縦割り行政の地域活動を行っている。

この観点から活動支援局のボランティア組織の活動は、自律と参画による「個人・

活動団体」を如何に支援するかにある。

　③会則改正は、住民の個人及び団体の提案権や活動権を基本にしており、ボランティア

活動のより一層の活性化が図られている。ボランティア委員（部会長）は、主体的に

部会を結成させ活動しやすい組織となった。

(4)議決に関して話合いによる合意を基本とするが、全員の合意に至らないときは、全住民の公平性を期すため「議決点数」制度を設ける。これは画期的方策である。

(5) 小学校区の地域づくりに大切なことは、「会則」の運用を上手くやることと広報紙やＩＴ活用による「情報の受・発信」の充実それに「人材」確保、特に地域リーダーは人望・人格に優れボランティアのみんなが楽しくやれる一語につきる。

以　　上

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　－１５－

ゆずり葉コミュニティ討議資料 H21/10作成

　 ～まちづくり協議会のあるべき姿について（考察）～

「まちづくり協議会」は、自治省（総務省）の答申に基づき、行政（宝塚市）が主導（先導）して構築した組織 ＝**「概ね小学校区地域」の「最小（行政区）執行組織」**であると考えます。 但し、他の行政が構築した組織＝ 民生委員・選管/明推協委員・人権委員・などは「人事を含めた運営が行政」によって行われますが、「まちづくり協議会」は**「人事を含めた運営が地域住民」**により行われる点が根本的に異なります。

また**「地域自治」の担い手（受け皿）となり得る「まちづくり協議会」**は、組織として、以下に述べる幾つかの条件を満たす必要があると考えます。

その成り立ちの経緯から、「まちづくり協議会」は「行政の下部組織」であるとの認識を、一部の「まちづくり協議会」（執行部）が未だに持っているように見えますが、これは誤りと思います。

その理由として 「まちづくり協議会」 は、地方自治 → 地域自治の実現に際し、**「地域住民の合意形成が出来る組織」** である事を前提とする 「最小の執行組織」 であり、近未来の 「地域住民主導による“まち　づくり”」 に際し、最重要かつ不可欠な役割を担う 「執行組織」 にならねばならない、と考えるからです。

従って 「最小の執行組織」 としての「まちづくり協議会」は 「地域住民の合意」を形成する事が出来ない「単なる活動家の集合団体（組織）であってはならない」 と考えます。

また「地域活動を自ら行う」事を「まちづくり協議会」の目的とせず **「地域にとって有為な活動を行う“個人～組織・団体”への支援を行う」**事を目的とすれば、従来からの地縁団体である **「自治会との親和性」** が無理なく生まれ、「自治会」が「まちづくり協議会」に対して積極的に協力する事が可能となり「“自治会と一体化” した“まちづくり協議会”」を形成することが出来ると考えます。 この　「まちづくり協議会」　は 「地域（小学校区）住民を代表する（自治）組織」になり得ると考えます。　（支援 ：情報の収集・提供及び広報、人材紹介、資金助成、など。）

上記の考え方に基づいて「県民交流広場事業」の受け皿が「最小の執行組織」である「まちづくり協議会」となったことは当然と考えますが、たとえ「“まちづくり協議会”を名乗る団体」であっても「地域住民の合意」を形成する事が出来ない「名ばかりの“まちづくり協議会”」では「地域（小学校区）住民を代表する（自治）組織」にはなり得ないため、地域自治の受け皿組織としては不適切と考えます。

現時点で「地域住民の合意」が形成出来る組織は「最小の自治組織（地縁団体）」である「（単位）自治会、 見做し自治会（集合住宅管理組合）」 以外には存在しないため 「まちづくり協議会」 と 「（単位）自治会」 「見做し自治会」 が一体となった**「当該地域をもれなく網羅する組織」** こそ、最も優れた「地域（小学校区）住民を代表する（自治）組織」 ＝ 「まちづくり協議会」 と考えます。

併せて「車の両輪論・組織」は一見優れた「論・組織」のように見えますが、両輪が同期（協調）して回らない限り、車（組織）は迷走してしまう」 危険性を忘れてはならない、と考えています。

新組織構築の検討にあたり、勉強会講師はじめ多々ご協力ご助言を頂いた皆様に厚く御礼申し上げます。

以　　上

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　－１６－

―16―

「逆瀬台小学校区まちづくり協議会」懇話会資料： H19/6/8作成

～“まちづくり協議会”について ～

－１－　住民の権利（義務）

1. 提案権・・・・・何を？・何時？・どの団体/組織の？・誰に？

　　　　　　　　　　個人・団体の提案　→　地域としての提案

　（例：行政への要望・改善提案・助成金・交付金の使途・等。）

1. 活動権・・・・・個人・団体（個々の活動）→　地域の活動

（例：見守り活動、防犯活動、等、全地域が連携して行うべき活動への支援。）

1. 評議/議決権・・・・・「住民合意形成組織」の構築が必要となる。

　（議決権を持つ組織は、権利と共に責任・義務を果たさねばならない。）

－２－　現状唯一の“住民組織”自治会

1. 自治会（６自治会）

ゆずりは台・逆瀬台２丁目・逆瀬台・青葉台・宝梅園団地・光ガ丘

上記６自治会は「逆瀬川小学校区自治会協議会」を発足させました。

1. みなし自治会（８管理組合）

逆瀬川マンション団地 管理組合法人・阪急逆瀬台マンション 管理組合・

逆瀬台住宅 管理組合・団地管理組合法人 逆瀬川グリーンハイツ

シャンティ逆瀬川 管理組合・逆瀬川パークマンション 管理組合

宝塚西山住宅 管理組合・阪急逆瀬台マンション-アヴェルデ 管理組合

＜みなし自治会の形態について＞

* 自治会組織の有無。（管理組合とは別）
* オーナー方式 又は 賃貸方式。

住民　＝　オーナー　必ず管理組合に加入する。

住民　≠　オーナー の割合は？　管理組合に加入が出来ますか？

[自 治 会 組織]： 該当地域の住民は「加入する権利」を有する“任意団体”です。

[管理組合 組織]：“不動産オーナー組織”であり、総ての住民が「加入する権利」

を持たない（借家人・等）可能性があります。

1. 老人ホーム（１園）

エデンの園の「住民組織」は、施設管理者 ではなく「入園者」です。

以　　上

注：平成30年3月現在⇒12自治会

注：平成30年3月現在⇒２管理組合

―17―

**宝塚市まちづくり協議会の定義について**

≪宝塚市まちづくり協議会補助金交付要綱≫

**(定義)　第３条　(1) まちづくり協議会**

地域社会における自治意識と連帯感を醸成し、地域課題の解決に向けた事業を行うことを目的に、概ね小学校区を範囲に、地域の公共的団体及び地域で活動する団体の代表者並びに地域住民により主体的に組織化された団体をいう。

≪宝塚市発行「コミュニティの創造と発展」より≫

**地域のまちづくり協議会のイメージ図**

市民

各種ボランティア

市民

**生駒市小学校区市民自治協議会**

市民

青少年補導委員

市民

各種活動団体

・グループ

自治会

地域の

福祉活動

青少年

育成活動

自治会と各種団体との協働

健康・

スポーツ

活動

**役員会**

事例

文化活動

学習・研修

地域広報

ヨコ＋タテ＝総合的なまちづくり組織

市民

市民

環境美化

活動

地域まつり

地区別計画

社会福祉協議会

老人会

民生・

児童委員

人権啓発

活動

交流事業

警察・消防

ＰＴＡ

市民

生涯学習

活動

防災・防犯

安全活動

ＮＰＯ・ボラ

ンティア団体

市民

老人クラブ

子ども会

女性団体

ＰＴＡ

障害者団体

民生児童委員

市民

市民

青年協議会

市民

生駒市人口＝120,888人、　世帯数＝49,117世帯

≪参考：生駒市自治連合会ホームページより≫

**逆瀬台小学校区まちづくり協議会「ゆずり葉コミュニティ」の組織図**

自治会を中核(合意形成の確立)とした組織づくり、各種団体との相互補完

◆ 連携・協働による組織の一元化と機能化を図っています。

行　政

ゆずり葉コミュニティ

(宝塚市自治会連合会加盟自治会)

逆瀬台小学校区自治会協議会

◆ 市民活動団体

スポーツクラブ２１ゆずり葉

老人会、子ども会　他

民生委員・児童委員

逆瀬台小学校ＰＴＡ

光ガ丘中学校ＰＴＡ

青少年育成市民会議

青少年補導委員

人権啓発推進委員会

各種活動団体・グループ

◆ 行政、学校、社協、

ＮＰＯ，事業者など

逆瀬台小学校、光ガ丘中学校

宝塚高等学校、宝塚西高等学校

逆瀬台郵便局、ＮＰＯ法人きらり

宝塚市社協逆瀬台地区センター

聖隷逆瀬台ディｻｰﾋﾞｽセンター

宝塚エデンの園、宝塚栄光園

宝塚自動車、岡本司法書士

リッツ介護タクシー、あゆみ建築

テナント(　アヴェルデ・逆瀬台Ｍ

・逆瀬台センター)

事務局長

（活動者登録届）

ボランティア＆活動団体

事務局委員

広 報

校区(地域)自治会連絡協議会

宝塚市自治会連合会

地区自治会連合会（第一～第七地区）

会計監査

書 記

連　携　・　協　働

自治会　１２

経 理

戸　建　＝６

マンション＝６

役　員　会

施 設

会　長

活動支援局長

活動支援局委員

マンション管理組合２

＊連合会未加入(見做し自治会)

＊　　＝議決権

＊役員会：戸数による基準制度

＊賛否：議決点数制度

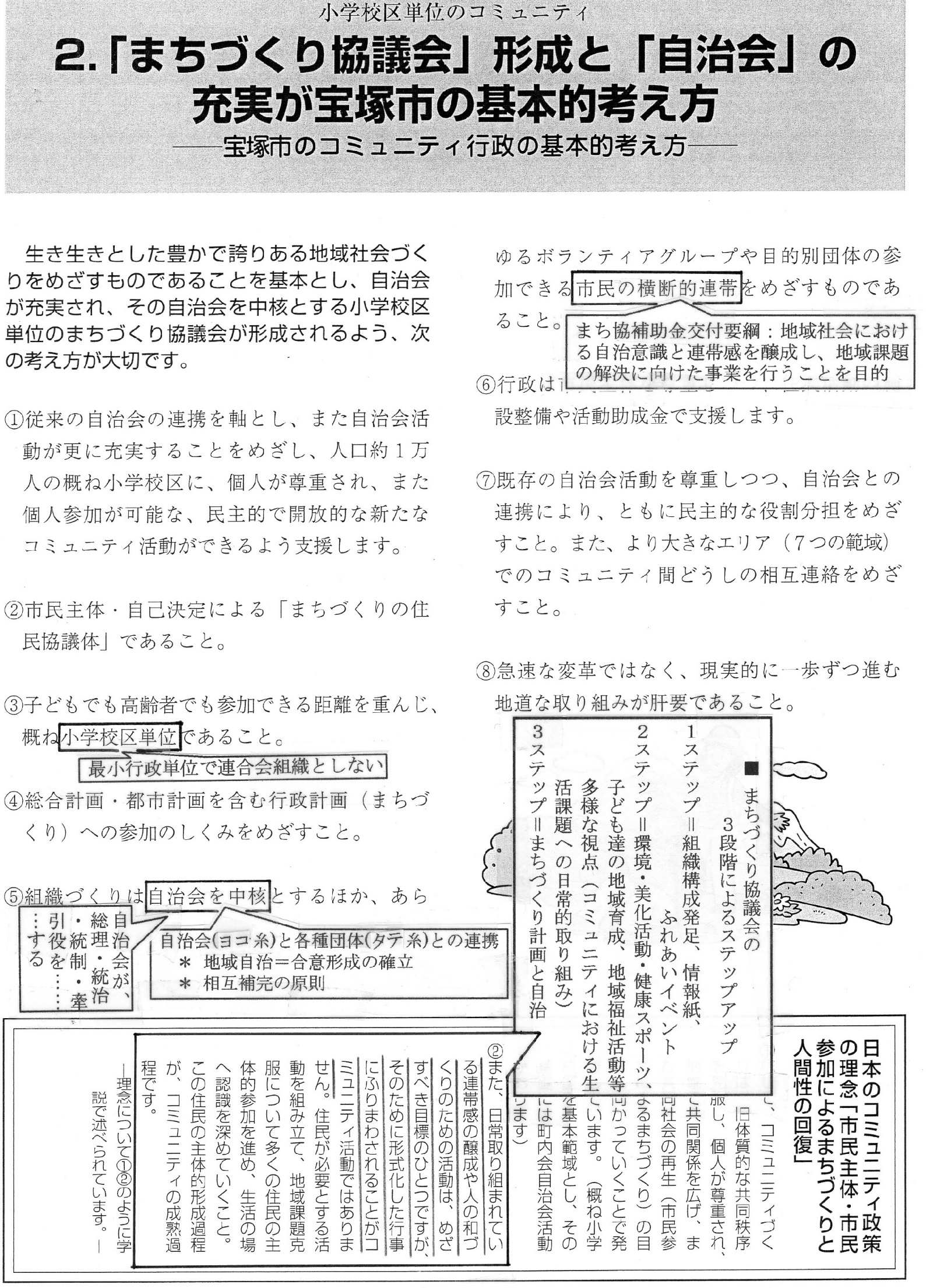
白瀬川両岸集合住宅協議会

（通称：白瀬川ブロック）

＊活動者登録届＝地域の人材バンク

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　－１８－

「コミュニティの創造と発展」平成１１年２月、宝塚市発行



まち協補助金交付要綱：地域社会における自治意識と連帯感を醸成し、地域課題の解決に向けた事業を行うことを目的

**まちづくり協議会の**

**３段階によるステップアップ**

１ステップ＝組織構成発足、情報紙、

　　　　　　　　　　ふれあいイベント

２ステップ＝環境・美化活動、健康スポーツ、子ども達の地域育成、地域福祉活動等多様な視点（コミュニティにおける生活課題への日常的取り組み）

３ステップ＝まちづくり計画と自治

最小行政単位：連合会組織としない

自治会が

総理・統

治・統制・牽引役………する

自治会と各種団体との協働

　★ 地域自治＝合意形成の確立

　★ 相互補完の原則

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　－１９－

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **≪ 地域ごとのまちづくり計画 ≫** | | | |
| Ｎo | 施　　　　　策　　　　　内　　　　　容 | 役割分担 |
| 1 | 高齢者や家族揃って出来る健康寿命の延伸や健康づくりの散歩を楽しめるように、ゆずり葉緑地からドングリふれあいの森・ヤマボウシふれあいの森、ガケ崩壊防止工事跡（緑と花づくりエリア）をネットワークする散策路を整備。散策路の東南側の入口となる若瀬橋一帯を魅力ある空間とする。北摂里山博物館「ゆずり葉の森」への出入口を逆瀬台１丁目の若瀬橋から白瀬川沿いにおける「アプローチ遊歩道」の新設、これらの取組みについて引き続き行政に働きかける。 | 市民と行政  令和２年２月２日付、役員会議決 |
| 2 | 西宮市に抜ける県道明石神戸宝塚線に散策路としての歩道を新設し、国立公園・樫ヶ峰、甲山森林公園、行者山へのアクセスを強化し、阪急仁川駅より阪急宝塚駅に至る宝塚市西部ハイキングコースを整備。「ゆずり葉緑地公園・ゆずり葉台分岐点」から「西宮北道路分岐点(甲寿橋・盤滝口)」までの歩道を確保する。これらの取り組みについて引き続き行政に働きかける。 | 市民と行政 |
| 3 | 逆瀬川団地入口に接する白瀬川歩道橋の下・逆瀬川マンション北側から逆瀬台住宅に沿う白瀬川に散策路と護岸のモルタルを一定の間隔で露地を穿って植樹と花木・花草を植栽し、アメニティロードとすることについて引き続き行政に働きかける。 | 市民と行政 |
| 4 | ゆずり葉緑地公園の環境整備について、現状や課題等の把握・検討を行う。  (1)ゴミ対策の美化看板の設置  (2)違法駐車解消のための駐車場の充実などの交通環境整備  (3)北部地帯にトイレの新設 | 主に行政 |
| 5 | 地域住民がお互いに声を掛け合い、助け合って地域内公園、花壇、公共用地の樹木や花の補植、清掃等の居住環境の保全・育成を図る。「地域緑化モデル地区指定花壇」として整備する。 | 主に市民 |
| 6 | 公園アドプト制度の導入を推進し健康遊具を設置するため「公園リノベーション事業」を継続する。 | 市民と行政 |
| 7 | 裏山の自然や散策路の整備、維持管理、及び健康寿命の延伸を図る健康づくりと環境美化を兼ねた散策活動の活性化に努める。 | 市民 |
| 8 | 深谷貯水池を周囲に桜木の植樹、水にふれあえる公園として有効活用できるようにする。 | 市民 |
| 9 | 宝塚ゴルフ場の農薬散布に係る情報を定例的に行うよう要望する。 | 市民 |
| 10 | 小学校・中学校・高校の体育館や運動場・空教室、各集合住宅の集会所・体育施設を一定条件の下に住民へ開放し、スポーツ活動・コミュニティ活動の活性化を図る。 | 市民と行政 |
| 11 | スポーツ行政を推進する立場から「小学校体育施設開放事業」の運用強化を図り、住民ボランティアによる逆小体育施設運営委員会に積極的に参画する。 | 市民と行政 |
| 12 | 市教育委員会の施策である「宝塚コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)」を設置し、学校、保護者、地域が一体となって子どもの教育に関わっていく。 | 市民と行政 |
| 13 | 地域のコミュニティ活動の中心となる、「ゆずり葉コミュニティルーム」を更に一層有効活用するために、周辺の環境条件の充実、例えば車利用者への対応や出入り口等の整備について現状や課題等の把握・検討を行う。 | 主に行政 |
| 14 | 逆小正門から100ｍ下るバリケードの間を、道路指定から学校敷地へ用途変更し、逆小脇の水路上に蓋をして駐車場として有効活用することについて、引き続き行政に働きかける。 | 市民と行政 |
| 15 | 高齢者の福祉と買い物対策として、新たな交通手段を検討する。 | 主に市民 |
| 16 | 自治会が管理運営する自治会館を地域住民のふれあいサロンとして活用して顔の見える関係をつくる。 | 主に市民 |
| 17 | 地域の有志に、街かどふれあいスペース（蔵書の公開、オープンガーデン、趣味の品作品展など）を提供してもらい、地域住民間のふれあい・交流を活発にする。 | 市民 |
| 18 | 高齢者等が気軽に集まって食事ができる場をつくる。（地域食堂、気軽に立ち寄れる喫茶スペース等） | 市民 |
| 19 | 独居老人の意向をふまえながら、病弱、持病がある人や障害がある人達の希望をまとめ、緊急通報システムや買い物の手伝いなどの具体的な見守り運動を民生委員と連携して構築・展開する。併せて、「災害時要援護者支援制度」の取り組みを推進する。 | 市民と行政 |
| 20 | ゆずり葉コミュニティで仮称「防災対策委員会」を設置し、単位自治会での防災の取り組みの意見共有の場をつくる。地域防災計画を視野に入れて検討する。（各単位自治会の避難ルート、避難所等の整備など。） | 主に市民 |
| 21 | 犯罪抑止（空き巣等）のための、防犯カメラの増設を要望する。 | 市民と行政 |
| 22 | 地域内に交番の新設と警ら箱・警察官立ち寄り所の増設を要望する。 | 主に市民 |
| 23 | 防犯パトロールを強化する。 | 市民 |
| 24 | 児童の防犯に対しては、アトム110番の継続と周知に努める。 | 主に市民 |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　―20―

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| Ｎo | 施　　　　　策　　　　　内　　　　　容 | 役割分担 | |
| 25 | 県道明石神戸宝塚線の騒音対策（速度制限や看板の設置、警察官の配置など）について、現状や課題等の把握・検討を行政に働きかける。 | 市民と行政 |
| 26 | 逆瀬台の住宅地内にあるバス通りで、警察と連携のもと、スピード制限を遵守するよう安全対策、騒音防止活動を行う。 | 市民と行政 | |
| 27 | 逆瀬台1丁目のファミリーマートと逆瀬川マンションに隣接する道路の角地の安全対策について、現状や課題等の把握・検討を行政に働きかける。 | 主に市民 | |
| 28 | 逆瀬台１丁目の若瀬橋付近において、児童の安全対策を実施する。 | 市民と行政 | |
| 29 | 青葉台のⒶ蔵人台共同墓地及びⒷ市営西山霊園への道を利用して、墓参者の対応について検討を行う。 | 主に行政 | |
| 30 | 逆瀬台５丁目から共同墓地横を通り南口・逆瀬川方面への道路の安全対策について行政に働きかける。 | 主に市民 | |
| 31 | 路上駐車は、車椅子の障害となり、また見通しも悪くなるので、取り締まりを強化するよう警察署へ要望すると共に、地域独自でのパトロール等に取り組む。 | 市民と行政 | |
| 32 | 阪急バス・逆瀬台センター行きの路線でバス停の間隔が長く、高齢者の行動圏拡大のためにも、逆瀬台１丁目と逆瀬台５丁目の中間地点に新しいバス停の設置を要望する。 | 市民と行政 | |
| 33 | 県道明石神戸宝塚線は、荒地西山線が開通すると交通量がますます増大する。このため、県道明石神戸宝塚線（白瀬川橋西詰から諭鶴羽橋北詰までの区間）の安全性確保、事業化の推進について、行政に働きかける。  　(1)３車線にして、右左折レーンの完全整備を行う  　(2)前項の南側沿いに幅広いグリーンカラーの歩道を設置する  　(3)前項の歩道区域は、常緑高木の緑地化とその樹間はベンチ等を置いて憩いの場とする  　(4)現在２カ所あるバス停に充分なポケットを設置する | 市民と行政 | |
| 34 | コミュニティ西側に広がる里山は宝塚市全体の貴重な自然であり、健康づくり活動とも連携しつつ、ボランタリーな管理活動の推進を図る。 | 主に市民 | |
| 35 | 県道明石神戸宝塚線やバス通りの沿道は、街並みの統一・街路樹の統一・瀟洒なデザインの街路燈設置、歩道の美装化など安全で快適な道路空間づくりについて行政に働きかける。 | 市民と行政 | |
| 36 | 逆瀬台３丁目から６丁目まで整備された紅白のサルスベリの街路樹について水やりや手入れを継続する。 | 市民 | |
| 37 | 逆瀬台１丁目から白瀬橋を渡った４丁目公園の正面入口付近について、まちの入ロにふさわしい瀟洒なデザインの街路燈の設置について行政に働きかける。 | 市民と行政 | |
| 38 | 県道明石神戸宝塚線に沿う宝塚ゴルフ場の鉄柵フェンス・コンクリートポール・ネットはまちの景観を大きく損ねているため、ゴルフコースの設計を見直すなどしてこれらの撤去検討を要望していく。 | 市民 | |
| 39 | 空き家の放置、環境悪化が問題となった際に単位自治会から市に連絡し、所有者に草刈り等の連絡調整をしてもらう。 | 市民と行政 | |
| 40 | 小学校、中学校の教育のなかで地域の魅力や問題点の発見学習を行い、まちづくりに対する意識や地域への愛着を育む。 | 主に市民 | |
| 41 | 積極的に声をかけ合う「あいさつ運動」を実施する。 | 市民 | |
| 42 | 逆小児童の登下校時の見守り活動を活性化する。特に土、日曜日、祝日と年末年始を除く育成会児童の同伴下校を充実させる。 | 市民 | |
| 43 | 地域で活動している各種団体の交流会、情報交換のためのイベント等を開催する。(福祉ネットワーク会議等) | 市民 | |
| 44 | 地域内の様々な才能をもった住民に参加を呼びかけ、仮称「文化・技能祭」を開催し、音楽会や住民持ち寄りの作品展示・観賞等を通じ地域文化の発揚と交流を定着する。 | 市民 | |
| 45 | 地域内の様々な才能を持った住民を「人材バンク」として登録し、いざというときに活躍していただけるシステムをつくる。 | 市民 | |
| 46 | 地域住民を対象としたまちづくり学習、講演会の開催、県・市などが主催するまちづくり研修会への派遣・参加を積極的に行う。 | 市民 | |
| 47 | 他コミュニティや他自治体のまちづくり協議会と交流を行い、学習する。 | 市民 | |
| 48 | ミミズクポスト、ゆずり葉だより、ホームページの充実に努め、双方向の意見交換ができるシステムを検討する。 | 市民 | |
| 49 | 「白瀬川の自然を育てる会」を発足さし、白瀬川でホタル観賞、自然観察等ができるように環境の保全維持に努め、住民の交流の場づくりを目指す。 | 市民と行政 | |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　－２１―